

2025 年度

ニチイキッズきりしま保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年3月31日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	“おもいっきり遊ぶおもいっきり学ぶ”の保育理念を念頭に入れながら保育を行ってきた。運動会で使用するため保育室にトラックを作り体を動かして遊ぶ事続けた。また今年度より専門講師によるWARAリズムを取り入れた。
子どもの発達援助	日々の15分ミーティングで子ども一人ひとりの特性や関わりかたの共有をした。子ども達の声に耳を傾け分かりやすいように声かけをしたり、ゆったりとした気持ちで関わる事が出来た。
保護者に対する支援	日々の連絡帳や登降園時の何気ない会話から困り感や悩み事を拾い保護者の気持ちに寄り添いながら信頼関係を作っていた。また、ホームページや園だよりで子どもの様子を知ってもらった。
保育を支える組織的基盤	園内研修の内容を充実させ保育や業務の充実を図る。全員でマニュアルを確認し合う時間を作る事が課題である。

総評
今年度から外部講師を招きWARAリズムの実施をした。一年間取り組むことで子どもたちがわらべうたや音楽に合わせて楽しみながら体を動かす姿が多く見られた。継続して取り組むことで歩き方や走り方、体の使い方に変化が見られつまずきや転倒が減るなど子どもたちの成長を感じる場面もあった。乳幼児期から体幹を使って体を動かすことの大切さを実感することができた。来年度も引き続き取り組んでいく。